

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																				
大阪アニメ・声優&eスポーツ専門学校	平成23年12月28日	須賀 寅充	〒530-0042 大阪市北区天満橋1-5-9 (電話) 06-6242-5220																				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																				
学校法人コミュニケーションアート	昭和63年3月31日	理事長 近藤 雅臣	〒550-0013 大阪市西区新町1-8-22 (電話) 06-6536-7161																				
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																			
文化・教養	専門課程	クリエイティブデザイン科(昼間Ⅱ部)	平成26年文部科学省告示第6号	-																			
学科の目的	本校は、教育基本法及び学校教育法に基づき、まんが、アニメ並びにゲーム・CG・eスポーツ等のエンタテインメントに関連する専門的知識及び技能を修得させ、もってその分野で貢献できる専門家の養成を図ることを目的とする。																						
認定年月日	平成27年2月17日																						
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																
2年	昼間	1,800時間	0時間	3240時間	0時間	0時間	0時間																
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																		
40人	26人	0	4人	51人	55人																		
学期制度	■1学期:4月1日～9月30日 ■2学期:10月1日～3月31日 ■3学期:		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 定期試験、出席状況にて評価を実施																			
長期休み	■学年始:4月1日 ■夏 季:7月24日～8月21日 ■冬 季:12月23日～1月7日 ■学年末:3月11日～3月31日		卒業・進級条件	出席率と試験点数により、進級、卒業に必要な単位を取得している。																			
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 個人面談、保護者面談、三者面談。またプロのコウンセラーによる相談窓口を設置。		課外活動	■課外活動の種類 同好会・学園祭実行委員会・学生会・体育祭 ■サークル活動: 有																			
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(令和2年度卒業生) アニメーション制作会社・アニメ音響企業・アニメーションスタジオ・デザイン会社など など ■就職指導内容 担任による個別面談、キャリアセンタースタッフによる進路カウンセリングや履歴書指導。 ■卒業生数 27 人 ■就職希望者数 17 人 ■就職者数 17 人 ■就職率 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 0.63 % ■その他 ・フリーランス: 10人 (令和 3年度卒業者に関する 明治33年1月0日 時点の情報)		主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和3年度卒業者に関する令和4年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>JESCコミュニケーションスキルアップ検定</td> <td>③</td> <td>32</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>MOS検定ワード</td> <td>③</td> <td>13</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>MOS検定エクセル</td> <td>③</td> <td>12</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等				資格・検定名	種	受験者数	合格者数	JESCコミュニケーションスキルアップ検定	③	32	29	MOS検定ワード	③	13	11	MOS検定エクセル	③	12	11
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																				
JESCコミュニケーションスキルアップ検定	③	32	29																				
MOS検定ワード	③	13	11																				
MOS検定エクセル	③	12	11																				
中途退学の現状	■中途退学者 3名 ■中退率 5.5 % 令和3年4月1日時点において、在学者55名(令和3年4月1日入学者を含む) 令和4年3月31日時点において、在学者52名(令和4年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 学校生活への不適合・経済的問題・進路変更等 ■中退防止・中退者支援のための取組 個人面談、学費相談(分割納入や延期納入)、保護者面談、三者面談、補修、課題提出																						
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有・無 ※有の場合、制度内容を記入 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象・非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																						
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 有・無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																						
当該学科のホームページURL	https://www.oas.ac.jp/course/																						

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まれません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賞金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

エンターテインメント業界において、人に感動や喜びを与えられることの出来るクリエイターとして即戦力を身に着けるよう、職業人教育を実施していくために、業界が必要とする人材を業界と共に育成する、産学協同教育システムという考えのもと、企業と連携した授業を実践している。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

本校の教育課程編成委員会は理事会のもとに設置されています。よって、学校が編成した教育課程案は、教育課程編成委員会に付議し、必要な場合は、理事会、評議会において決議されます。

また、業界からの求められる人材、技術等についても各企業から情報をいただきそれを委員会にて議論を重ね、より実践的に職業教育を実施できるよう行っている。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和4年5月1日現在

名前	所属	任期	種別
内海賢太郎	一般社団法人日本声優事業社協議会	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	①
大野 拓家	株式会社 ラグタイム	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	③
宮下 耕治	株式会社 セイ	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	③
宮前 健夫	株式会社ゼネラルアサヒ	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	③
岩元 トータ	株式会社 キャラ	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	③

※委員の種別の欄には、**企業等委員の場合には**、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合には、種別の欄は空欄で構いません。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (9月、2月)

(開催日時(実績))

第1回 令和3年9月17日 13:00～14:30

第2回 令和4年2月7日 13:00～15:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

個人レベルの差を埋めるための補習の充実。

就職:業界と早期から接点を作っていく(希望職種の明確化)

業界では、技術・知識も必要だが、コミュニケーションスキルやマネジメント、プレゼン力も求められるためそういった部分も強化する必要がある。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

3つの教育理念(実学教育・人間教育・国際教育)を掲げ、業界が求める人材を業界と共に育成する「産学連携教育」という考え方のもと、業界の方から直接、学生が目指す職業に必要な知識、技術を指導している。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

企業プロジェクト(企業課題)や業界研修などを通じて、目指す職業に必要な知識、技術を習得させる。

また業界の方に直接指導並びに、作品審査や評価を頂き、教員が成績評価・単位認定を行う。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。		
科目名	科目概要	連携企業等
進級制作	PCペイントツールを駆使した現場レベルの背景レタッチ・描画をマスターする。空間把握や陰影デッサンを基礎とし現場で即必要とされる技法の演習で1年間の集大成として学んだ力を発揮し、作品を作り上げます。	株式会社GoHands,
業界研修	初歩から始め、基本的なことを中心とし、先々は就職を視野に入れた 基礎的な実力をつけます。	株式会社神戸デジタルクリエイティブ
デッサン	業界が求める技術・人間性を身に付け、業界への就職を確実に目指すために本授業以外の授業ともコラボレーションを図り、スキルはもちろんの事、挨拶や礼儀・時間厳守などの社会人としての人間力を向上させ周囲の人々に信頼される資質を育成する。	株式会社テレコム・アニメーションフ
3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係		
<p>(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針 ※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記 学園の求める教員研修規定において、教員の授業内容・教育技法の改善並びにクラス運営方法の向上、マネジメント能力を含む指導力の向上を研修の目的と定めています。平成30年度においては、中途退学者防止に向けた「学生ひとり一人」に対する対応案の企画立案・実施・評価というPDCAサイクルを実施することを年間の教育活動の中心に据え、ファカルティ・ディベロップメント活動を推進する専任教員に対し、以下の要素を年間を通じた授業内容に反映されるよう研修を行う。 ① キャリア教育の視点②ひとり一人を見ていく視点 さらには専任教員と兼任教員で組織する講師会において、方針を共有し授業内容のチェック、教育技法改善に向けた研修を実施している。</p>		
<p>(2) 研修等の実績 ① 専攻分野における実務に関する研修等</p> <p>滋慶教育科学研究所(JESC)主催の各教育部会(年2回)や教育学会発表(年1回)、業界団体取材の研修(年1回)などを実施した。業界動向把握のため、業界の方を招いての講演を実施している。</p>		
<p>② 指導力の修得・向上のための研修等</p> <p>滋慶教育科学研究所(JESC)主催の各教育部会(年2回)や教育学会発表(年1回)、各セッション、対象者に応じた研修などを実施した(年1回)</p>		
<p>(3) 研修等の計画 ① 専攻分野における実務に関する研修等</p> <p>滋慶教育科学研究所(JESC)主催の各教育部会(年2回)や教育学会発表(年1回)、業界団体取材の研修(年1回)などを実施した。業界動向把握のため、業界の方を招いての講演を実施している。</p>		
<p>② 指導力の修得・向上のための研修等</p> <p>滋慶教育科学研究所(JESC)主催の各教育部会(年2回)や教育学会発表(年1回)、各セッション、対象者に応じた研修などを実施している(年1回)</p>		

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

卒業生、保護者代表、近隣関係者、高校関係者とともに、業界関係者により構成される学校関係者評価委員会を組織し、この委員会が学校教職員が行った自己点検・自己評価の内容を審議・評価することを通し、学校運営の改善に活かすことを方針とする

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	教育理念、目的、育成人材像
(2)学校運営	学校運営
(3)教育活動	教育活動
(4)学修成果	学修成果
(5)学生支援	学生支援
(6)教育環境	教育環境
(7)学生の受入れ募集	学生の募集と受け入れ
(8)財務	財務
(9)法令等の遵守	法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献
(11)国際交流	国際交流

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価委員会において討議され、各委員の方々から頂いた意見を学校運営において反映させていっている。そして自己点検。自己評価を繰り返しより良い運営が行えるようにしている。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和4年5月1日現在

名前	所属	任期	種別
池田 悠斗	フリー漫画家	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	卒業生
保護者様代表	保護者様	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	保護者
易 寿也	大阪府立富田林高校 前学校長	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	学校
田中 貢	(有)テーク・ワンオーディオ	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	業界
中西 正人	株式会社 キレイ	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	業界
宮下 耕治	株式会社 セイ	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	業界
竹田 昌広	有限会社 プランニングRYU	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	業界

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL:<https://www.oas.ac.jp/course/>

公表時期:令和4年8月1日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

事業計画の実行方針において、提起された目標を具体化するため、企業などから意見聴取を行い、業界の動きを踏まえた実行計画を作成している。具体的な事例として、講師会等にて企業課題や授業科目、内容について検討を重ね、意見を反映させてから、様々な企業との連携を図っている。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	校長名、所在地、連絡先、学校の沿革、建学の理念、学校安全関連、併
(2)各学科等の教育	受入方針、定員、在校生数、卒業生数、カリキュラム(教科課程表)、学
(3)教職員	教職員数、学校組織図、教員の実績
(4)キャリア教育・実践的職業教育	産学協同教育、コミュニケーションスキルアップ検定
(5)様々な教育活動・教育環境	施設紹介、海外実学研修、海外専門留学
(6)学生の生活支援	中途退学防止への取り組み/中途退学状況・進路変更委員会・SSC、
(7)学生納付金・修学支援	学費一覧、奨学金・教育ローン案内等
(8)学校の財務	財務資料
(9)学校評価	学校関係者評価委員会
(10)国際連携の状況	留学生支援、留学生の受け入れ状況、外国の学校などとの交流状況
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL:<https://www.oas.ac.jp/course/>

授業科目等の概要

(専門課程クリエイティブデザイン科昼間Ⅰ部・Ⅱ部) 令和3年度															
分類	授業科目名			授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
								講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
必修	選択必修	自由選択													
1	○		英会話	洋画や海外のアニメーションを通して英語力を学びます。	1通	60	4	○			○			○	
2	○		コンピュータ	業界に通用するパソコンのスキルを習得します。	1通	60	4	○			○			○	
3	○		ビジネスマナー	社会人としての対応や就職に際しての心構えなどを学びます。	1通	60	4	○			○			○	
4	○		コミュニケーション技法	現場の作品創りに沿った授業。	1通	60	4	○			○			○	
5	○		デッサン	人物デッサンやクロッキーなど作画の基礎力を養います。	1通 2通	240	16	○			○			○ ○	
6	○		ビジュアルコミュニケーション	デジタルソフトを使用してペイント・撮影・編集の制作工程を学びます。	1通 2通	240	16	○			○			○	
7	○		DTP	デザインソフトフォトショップ・イラストレーターを使用してMacオペレーションを習得、実践的なテクニックを習得します。	1通	60	4	○			○			○	
8	○		ベーシックデザイン	映画やアニメなど様々な映像作品の分析と研究を行い、幅広い表現方法や考え方を身に付けます。	1通 2通	120	8	○			○			○	
9	○		コンセプト&プランニング	キャラクターの表情や動きなどの基礎的なことから、ゲーム・マンガ・イラスト・グッズなどジャンルによって描き分ける方法などを相対的に学びます。	1通 2通	120	8	○			○			○	
10		○	グラフィックデザインⅠ	商品に対し販促媒体などを自ら企画立案し、コンセプトに沿ったデザインのノウハウを学びます。	1通 2通	120	8	○			○			○	
11		○	イラストレーションⅠ	作品を描くうえで必要な基礎的な技術全般を学びます。	1通 2通	120	8	○			○			○	

12	○	アニメ制作Ⅰ	PCペイントツールを駆使した現場レベルの背景レタッチ・描画をマスターする。空間把握や陰影デッサンを基礎とし現場で即必要とされる技法の演習	1 通 2 通	120	8	○	○	○									
13	○	マンガ制作Ⅰ	コピックやPCを使用して自分の描いたキャラクターに着色し、1枚のイラストで表現する手法を学びます。	1 通 2 通	120	8	○	○	○									
14	○	シナリオライティングⅠ	小説において読者の興味を惹きつけるキャラクターの創り方を物語を構築していく中で実践的に学びます。	1 通 2 通	120	8	○	○	○									
15	○	グラフィックデザインⅡ	絵具の適正な扱い方を理解し、創造的・効果的な色彩テクニックを身に付けます。	2 通	240	16	○	○	○									
16	○	イラストレーションⅡ	就職を意識したポートフォリオ制作、商業レベルでのイラスト作品制作を行う。アナログでの基礎画力、デジタルでの彩色など、総合的な作画技術の向上を目指す。	2 通	240	16	○	○	○									
17	○	アニメ制作Ⅱ	デジタルソフトを使用してPC上での動画技術を習得します。	2 通	240	16	○	○	○									
18	○	マンガ制作Ⅱ	作品を向上させるための技術を総合的に習得し、デビューに向けて投稿・持込みを行います。	2 通	240	16	○	○	○									
19	○	シナリオライティングⅡ	与えられたテーマに対して記事をするためのインタビュー、情報収集のノウハウを学びます。	2 通	240	16	○	○	○									
20	○	就職・デビュー対策講座	企業課題や公募課題に向けての作品制作を中心に、実践的な授業を行います。	1 通	60	4	○	○	○									
21	○	業界研修	初歩から始め、基本的なことを中心とし、先々は就職を視野に入れた基礎的な実力をつけます。毎回ペイント作業をする中で新しい項目を交えながら繰り返し作業を行い、技術を習得してもらいます	2 通	120	8	○	○	○									
22	○	進級制作	PCペイントツールを駆使した現場レベルの背景レタッチ・描画をマスターする。空間把握や陰影デッサンを基礎とし現場で即必要とされる技法の演習で1年間の集大成として学んだ力を発揮し、作品を作り上げます。	1 通	120	8	○	○	○									
23	○	卒業制作	2年間の集大成として学んだ力を発揮し、作品を作り上げます。	2 通	120	8	○	○	○									
合計				23科目	3,240単位時間(216単位)													

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
2年間で114単位(1,800時間)以上を修得した者で、卒業認定された者		1学年の学期区分	前期・後期
		1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。